

モニタリング結果報告書

施設 藤野芸術の家
 指定管理者 (社)神奈川県青少年協会
 施設所管課 青少年課

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月20日	改善すべき業務等なし
11月	12月10日	12月15日	改善すべき業務等なし
12月	1月12日	1月18日	改善すべき業務等なし
1月	2月10日	2月17日	改善すべき業務等なし
2月	3月10日	3月19日	改善すべき業務等なし
3月	4月13日	4月14日	改善すべき業務等なし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

当該施設は、旧藤野町の「藤野ふるさと芸術村構想」で、芸術村の拠点施設として施策が展開されてきた経緯もあり、地域との連携は欠かせない要素であることから、地域イベントへの参加や地域芸術家との連携など、協力体制を構築してゆく。

<実施状況>

10月 藤野ふる里まつりへの参加(「風船にハロウィンの顔を描く」を実施) 参加者数 60人

11月 もちつき・たこあげ大会(地元団体の協力を得た凧作りともちつき大会) 参加者数 143人

1月 席書き大会開催と作品展示(地元書道団体との共催による書初め大会) 参加者数 57人

その他、地域芸術家の小作品販売や地域特産物の紹介(さつまいも堀りなど)を実施。

上記イベントの実施や地域イベントへの参加等の取組みを通じ、地域芸術家や住民、施設等との連携を図り、協力体制を築くことで、地域振興に寄与するとともに、施設や実施事業のPRに繋がっている。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	189,600	136,062	36,000	17,538	189,600	0
上半期計 (a)	90,515	58,485	21,047 (21,722)	10,983	71,602	18,913
下半期計 (b)	97,133	77,577	13,225 (14,059)	6,330	101,891	△4,757
10月	15,321	10,720	3,019 (3,212)	1,581	14,608	713
11月	21,631	18,400	2,120 (2,297)	1,110	13,599	8,031
12月	12,679	10,420	1,601 (1,516)	658	19,970	△7,291
1月	12,778	10,670	1,433 (1,638)	675	10,582	2,195
2月	12,725	10,600	1,424 (2,161)	700	12,030	695
3月	21,997	16,767	3,626 (3,235)	1,604	31,100	△9,102
合計 (a+b)	187,648	136,062	34,272 (35,781)	17,314	173,493	14,155

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

電気の基本料金削減努力や節電等による光熱水費の削減、消耗品費等の支出抑制等、経費節減を行った結果、年間収支に差額が生じている。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	該当無し	
支出の状況		
積立等の状況		

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	62,628 人	64,773 人	△ 3. 3 %
下半期計 (b)	32,786 人	34,321 人	△ 4. 5 %
10 月	6,818 人	7,776 人	△ 1 2. 3 %
11 月	6,257 人	6,034 人	3. 7 %
12 月	4,338 人	4,214 人	2. 9 %
1 月	4,440 人	3,386 人	3 1. 1 %
2 月	3,404 人	5,419 人	△ 3 7. 2 %
3 月	7,529 人	7,492 人	0. 5 %
合計 (a+b)	95,414 人	99,094 人	△ 3. 7 %

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1 割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10 月	0	0	0	0	4	4
11 月	0	0	0	0	2	2
12 月	0	0	0	0	4	4
1 月	0	0	0	0	12	12
2 月	0	0	0	0	1	1
3 月	0	0	0	0	5	5

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10 月	0	0	0
11 月	0	0	0
12 月	0	0	0
1 月	0	0	0
2 月	0	0	0
3 月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・ 宿泊室のトイレ、洗面台設置に関する要望	宿泊室の大規模な改修は、現状では困難
	・	
職員対応	・ 特筆すべきものはなし	
	・	
事業内容	・ 特筆すべきものはなし	
	・	
その他	・ 特筆すべきものはなし	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	該当無し
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		今期実施なし	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理、運営に関する業務につき、計画通り実施した。 支出については、最大消費電力を計画的にコントロールすることで、電気の基本料金の削減を行う等、光熱水費をはじめとする経費節減努力を行った。 利用者サービス向上と利用者増、収入増をはかるため、春休み中の休館日の臨時開館やホームページのイベント情報や空室情報のこまめな更新、近隣への計画的なポスティング等の広報活動に積極的に取り組んだ。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理業務を概ね着実に推進している。 収支については、光熱水費削減のために工夫を凝らすなど、経費節減に努め、概ね順調であった。 利用者アンケートでは、工房の実施プログラムや指導に対し良い評価を得ているため、今後も、より工夫を凝らした魅力あるプログラムの提供及び利用者の立場に立った対応を心がけるとともに、更に広報活動に力を入れ、施設の知名度向上や新たな利用者の確保に努め、利用者や収入の増加を図ってゆく必要がある。